

一人暮らしのペット

アイリス犬猫病院 院長 齋藤 都

私は今年、自身の飼い猫を亡くしました。十九才でした。六十才も半ばを過ぎた一人暮らしの私は寂しいですがもう猫は飼えないと諦めています。近年一人暮らしのシルバー世代が増え、飼い主さんの方が先に亡くなる例も多く見られるようになりました。その時の心積もりはしておいででしょうか。いくつかの例を上げてみます。癌で余命宣告を受けた方が飼い猫五匹を安楽死すると言いました。それも責任の取り方ですが、幸いに長年捨て猫の保護に携わって来た方でしたので、猫仲間の方々が五匹の貰い手を見つけ、安楽死を思いとどまらせました。十五匹の猫を残して急死した方の場合、相続人の方が猫達を皆保健所に連れて行ってしまうました。また癌で

亡くなった方の老犬は遺言通り持ち家に、近所の飼い主の友人の方の世話を受け、二年後に亡くなるまでその家で暮らしました。

今七十五才の方から猫を飼いたいので世話して欲しいと依頼を受けています。通常猫の譲渡会では六十才以上の一人暮らしの方に猫は渡しません。どちらの側の気持ちもわかりません。

その方の場合は一緒に来た別世帯の娘さんが、万一の時は自分が猫を引き取ると明言されたので、事情のある猫さんが来たら紹介してみようかと思っています。

大切なペットの為に早くから何らかの心積もりは必要ではないでしょうか。

春ごよみ

5 月	4 月	3 月	当山行事
	4 / 3 降誕会 (花まつり)	3 / 17 入り 彼岸会 3 / 20 中日 (春分の旦) 3 / 23 明け	
5 / 5 立夏 ●滝おもて雲おし移る 立夏かな(飯田蛇笏) 5 / 20 小満 ●小満や後れし麦の 山畑(圭岳)	4 / 4 清明 ●清明の粉々の雨 先ず聴かむ(相生垣瓜人) 4 / 20 穀雨 ●掘り返す塊光る 穀雨かな(泊雲)	3 / 5 啓蟄 ●啓蟄や日はふりそぞぐ 矢の如く(高浜虚子) 3 / 20 春分 ●春分や走り咲きなる 寺桜(天守)	二十四節気
5 / 1 八十八夜 5 / 3 憲法記念日 5 / 4 みどりの日 5 / 5 端午の節句 (菖蒲の節句) 5 / 8 母の日	4 / 29 昭和の日	3 / 3 上巳の節句 (桃の節句) (雛祭り)	祝日等

「こよみ事典」 東京美術 参考

ことわざの意味

(表) 地獄の上を一飛びに越そうとする。

(裏) 失敗すれば地獄へ落ちる、危険この上ない試み。



◎型肝炎

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス（HCV）によって起こる肝臓の病気です。症状が現れにくく、感染に気づかない人も多いのですが、肝がんの70%以上がC型肝炎から発症しており、早期治療が重要です。

C型肝炎の治療の進歩はめざましく、ここ2～3年の間に新薬が続々と登場し、インターフェロンに加えて内服薬だけでウイルスを排除する治療法も登場しています。

ながた内科クリニック

院長 永田 宏

TEL 04-1369-0707

症状がないまま慢性化し肝がんのリスクが高まる

肝臓は人体の中で最も大きな臓器で、①体に必要なたんぱく質や栄養分の生成・貯蔵、②アルコールや薬の分解・解毒、③消化酵素の働きを助ける胆汁の分泌など、人が生きていく上で欠くことができない機能を担っています。

“沈黙の臓器”と呼ばれる肝臓は、多少の異常や障害では症状が現れず、気づいたときには病状が進行していることが少なくありません。

肝臓の代表的な病気が肝炎で、最も多いのが、肝臓にウイルスが感染して炎症を起こすウイルス性肝炎です。特に

C型肝炎は慢性化率が高いことが問題です。C型肝炎ウイルス（HCV）に感染後、約70%が体内にウイルスが棲み続ける持続感染者（キャリア）となつて慢性肝炎に移行します。慢性肝炎になると、肝細胞の破壊と再生が繰り返され、肝臓がしだいに筋張つて硬くなり（線維化）、約20年かけて肝硬変に進みます。そして、その一部は肝がんを発症します。

60代以上を中心に健診などで偶然に発見

C型肝炎は主に血液を介して感染し、過去には輸血や血液製剤、集団予防接種の際の注射器の連続使用などが原因となっていました。その後、これらの問題は改善され、新たな感染はきわめて少なくなっています。現在の患者さんの多くは、未治療のまま慢性肝炎に移行した60代以上の人

たちで、ほとんどが健康診断や献血、他の病気の検査で偶然発見されています。肝臓の異常は、血液検査のAST（GOT）、ALT（GPT）値でわかります。これらは肝細胞に含まれる酵素で、肝細胞が壊れると血液中に漏れ出てきます。何かの機会に異常を指摘され、精密検査を勧められ、たら必ず受けてください。現在、国内のC型肝炎ウイルス感染者は150万人～200万人と推定され、全国の自治体で肝炎ウイルス検査を実施するなど、国をあげて患者さんの掘り起こしに取り組んでいます。C型肝炎ウイルス検査では、血液中のHCV抗体の有無を調べる「HCV抗体検査」、HCVの遺伝子を調べる「HCV RNA検査」、HCVの抗原を検出する「HCV抗原検査」を適宜組み合わせ判定します。

ことわざの意味

(7)

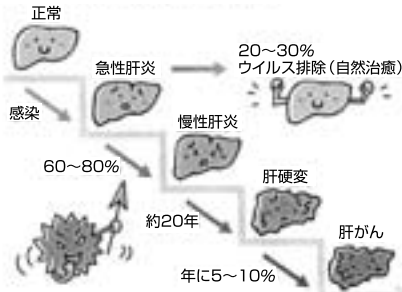
(表) 雀が海へ入ると蛤に変る。(到底あり得ないこと)

(裏) 物事が意外の方向に変化すること。

多剤併用で効果が向上 インターフェéron療法

C型肝炎の治療の目標は、肝硬変への進展、肝がんの発生を抑えることです。そのためには、ウイルスを体内から排除し（抗ウイルス療法）、肝臓の炎症を鎮静化することが第一です。現在、治療の中心は抗ウイルス薬であるインターフェéronの注射です。インターフェー

■ HCV感染から肝がんへの道のり



気づかないまま進行し、加齢とともに肝がん発症のリスクが高まるため、早期に発見してウイルスを排除することが重要です。

ンはもともと、体内に侵入したウイルスなどの病原体に対向するために、細胞が産生する物質です。これを製剤として人工的に作り、大量に体内に送り込むことによって免疫力を増強し、ウイルスを排除します。C型肝炎ウイルスには、遺伝子型（ゲノタイプ）によって1型と2型があります。日本人のC型肝炎の70%は1型で、このタイプのウイルスは非常に治療（排除）が難しいのです。インターフェéron治療は1992年に開始されましたが、当初は6か月間、週3回の注射が必要で、ゲノタイプ1型でウイルスを完全に排除できたのは治療を受けた人の10%程度でした。2003年に、週1回の注射で効果が持続するペグインターフェéronが登場し、その後、

リバビリン（抗ウイルス薬、内服）との2剤併用療法でウイルス排除率は約50%に向上しました。現在は、これに直接作用型抗ウイルス薬（DAA…直接ウイルスの遺伝子に働いて増殖を抑える。内服）のプロテアーゼ阻害薬を加えた3剤併用療法によって、インターフェéron療法のウイルス排除率は80%以上となっています。

内服薬だけで治療する インターフェéronフリー

2014年から、抗ウイルス薬の新薬が次々と登場し、内服薬だけでウイルスを消失させる治療が始まりました。インターフェéronフリー（インターフェéronを使用しない、という意味）と呼ばれる治療法で、2種類の抗ウイルス薬を1日1回、2回服用

します。インターフェéron療法は優れた治療法ですが、ゲノタイプ1型で高ウイルス量の患者さんへの効果は十分ではなく、体質によっても効きにくい人がいます。また、高齢、肝臓の状態、併存する他の病気などのために治療が困難な人や、発熱、全身倦怠感、抑うつ、脱毛などの比較的強い副作用を伴うため途中で治療を断念する人もいます。インターフェéronフリー療法は、このような患者さんにも有効で、副作用も少ないとされています。薬剤によって若干の違いはありますが、ウイルス排除率80~95%以上という高い効果が報告されています。適応にあたっては、ウイルスがその薬に耐性を持つかどうかを調べる薬剤耐性遺伝子検査が必要です。ウイルスに薬剤耐性変異が

あると、効果がないばかりか、その薬剤によってさらに耐性ウイルスが増強し、その後の治療を難しくしてしまいます。

また、新薬には併用が禁忌とされている薬が多くあります。治療の安全のために、他の病気で服用している薬との薬物相互作用を慎重に確認する必要があります。肝機能障害、腎機能障害、貧血ほか、肝炎以外の病気の存在によっても適応できない場合があります。

専門医とよく相談し 自分に合った治療を

インターフェロンフリー療法の登場で、「内服薬だけで治るなら、通院しなればならず、しかも副作用を伴うインターフェロン療法は不要」と思われがちですが、

そうではありません。インターフェロン療法はこれまでの治療成績から、ウイルスを排除し、肝がんの発生を抑える効果が実証されています。薬剤に対する薬剤耐性ウイルスの問題ありません。一方、

始まったばかりのインターフェロンフリー療法の困難な患者さんにとって大きな福音であり、重要な選択肢ですが、肝がんの抑制効果は現在のところ未知数で、今後、臨床データを蓄積して検証していく必要があります。インターフェロン療法もインターフェロンフリー療法も適用できない場合は、肝底かんひこ護薬の注射や内服薬で肝臓の炎症を抑え、肝機能ができるだけ正常に保つことによって肝がん発生リスクを軽減する肝底護療法を行います。どの治療法が自分にとって最良なのか、専門医とよく相談し、納得して治療を受けることが大切です。

ウイルスが消失しても 肝臓の継続チェックを

く相談し、納得して治療を受けることが大切です。

ウイルスが完全に排除されると、慢性的な炎症で線維化した肝臓はしだいに再生し、正常な肝臓に近づいてきます。そして数年後に検査すると、約半数の人は肝臓の状態が改善しています。ところが、残りの半数の人は変化がなく、なかには悪化している人がいます。長年ウイルスに侵されてきた肝臓は、ウイルスが消えたからといって、そう簡単には元通りにはなりません。傷んだ肝臓に、「男性であること」「60歳以上」「重度の肝臓の線維化」「肝機能の異常(ALT、ALPの数値が正常化しない)」「肝がんの腫瘍マーカー(AFP)値が高い」な

どの要因が重なると、病状が進んで肝がんを発生するリスクが高まります。このような人は、ウイルスが消えても油断せずに、主治医の指示に従って定期的に血液や超音波の検査を受け、肝臓のチェックを続けましょう。

医療費助成制度があります

インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療には、通常健康保険による診療に加えて、医療費助成制度を利用することができます。

患者さんの自己負担限度額は月額1万円、または2万円(所得の高い世帯)で、残りの費用は国および都道府県によって負担されます。申請には医師の診断書が必要です。詳しくは居住する市区町村の保健所などに問い合わせてください。



得度式

この度「真祥」というお名前を頂きました。
がんばって参りますので、よろしく願い
いたします。

一月十日

徒弟 佐藤 真祥



年間行事

一月(睦月)	二月(如月)	三月(弥生)	四月(卯月)	五月(皐月)	六月(水無月)	七月(文月)	八月(葉月)	九月(長月)	十月(神無月)	十一月(霜月)	十二月(師走)
修正会	涅槃会	春彼岸	花まつり			新盆	旧盆	秋彼岸			成道会

尚、日々の供養をはじめ 先祖水子
供養、人形供養も行っております。

●本山：東京都府中市浅間町2-15-1 〒183-0001
TEL.042-365-7676 FAX.042-336-3888
URL <http://www.jikeiin.jp>

●足立別院：東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055
TEL.03-3628-7676 FAX.03-3628-7679

編集後記

新年早々、得度式があり、
新しく僧が誕生しました。
(得度とは剃髪して仏門に入ること
初心を忘れずにがんばって下
さい。

乍末筆、皆様には風邪など
引かれませぬよう、どうぞご
自愛下さい。

丙申二月

合掌

慈 恵 春季号 No.54

平成二十八年三月二日 発行

発行者 永 田 恵 堂

編集者 長 岡 天 佑

発行所 一八三〇〇〇一

府中市浅間町二十五十一
宗教法人慈恵院 編集部

〇四二一三六五七六七六

印刷所 山二印刷有限公司

府中市浅間町三十四一九
〇四二一三六一五二二二